

# 大会宣言

～誰のために、何のために自分たちが在るのか～

就労継続支援 A 型事業所が多い、この熊本という地域で本大会を開催させて頂いたことは本当に意義深いものだと改めて感じています。平成 30 年 4 月からの障害福祉サービスの報酬改定では、就労継続支援 A 型事業所の役割がこれまでより明確化されたと考えています。

まず 1 点目は、労働時間による基本報酬の設定です。労働時間を延ばしていくこと、すなわちご利用者の所得向上を積極的に行うことで、それ相応の報酬体系となりました。2 点目は、一般就労へ結び付ける支援に対するこれまで以上の加算の設定です。これまでも就労移行支援体制加算として設定されていましたが、今回の報酬改定で就労定着人数に応じた加算算定となりました。

この 2 点から考えると、ご利用者に対してさらに質の高いサービスを提供する必要性がより高まったと考えられ、それが A 型事業所に課せられた役割、使命ではないかと思われま

す。こういった制度の流れを踏まえて、本大会においては、自分たちが「誰のために、何のために自分たちが在るのか」ということを、今一度考えてみることをテーマに掲げることとしました。労働時間を延ばしてご利用者の所得水準を向上させる、一方ではご利用者を一般就労へ結び付ける、事業の方向性として相矛盾するような福祉サービスを提供していく必要があります。ただ、A 型事業所を運営する上では、このどちらにも対応していく必要があり、そこにはご利用者のニーズをきちんと把握した上で支援を行っていく他に方法はないと思います。全 A ネットの基本方針にも掲げてあります「アセスメントを入念に実施し、利用に関しては利用者の希望を最大限尊重する」という姿勢を A 型事業所全体が持つことで、結果、地域の障害をお持ちの方々のニーズを満たすことになるのではないかと思います。

私たちは、利用者一人ひとりのしあわせを実現することに誠実に取り組み、そしてその積み重ねから、社会のしあわせを追求していかなければならないと思います。そのためにも、「誰のために、何のために自分たちが在るのか」ということを常に意識しながら、地域の A 型事業所同士で連携していきます。

平成 30 年 11 月 10 日

就労継続支援 A 型事業所全国協議会

「はたらく NIPPON ! 計画」A 型フォーラム in 熊本

大会実行委員会、参加者一同